

1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

この製品をお施主様が末永く安全に使えるように、またトラブルなく確実な施工をするために、以下のことを必ず守ってください。

警告表示の種類と内容

警告 誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容

注意 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

禁止 してはいけない内容です

必須 必ず実行していただく内容です

お願い 留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法など

このたびは、「DAIKEN製品」をご採用いただきありがとうございます。

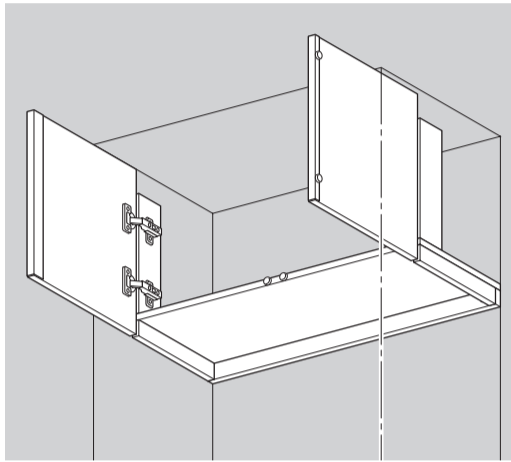
- 施工の際は以下の工具をご用意ください。
- 電動ドリル(Φ2番ビット)
 - 手回しドライバー・ノコギリ

※左記のマークがある場合は、電動ドリルを使用しないでください。

施工業者様へ
弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。

必ず、取扱説明書をお施主様に手渡し、使用方法を説明していただきますようお願いいたします。

※取扱説明書は下記のURLからダウンロードできます。
<https://www.daiken.jp/qr/manual/>



- この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。
- この説明書に出てくる**!**、**!**、**!**マークや**お願い**は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- 製品を廃棄する際は、法律および地方自治体の規則に基づいて適切に処理してください。

警告

- !** 設置面の水平・垂直、ゆがみを水準器などでよく確認してください。水平・垂直が正確でない場合、すき間ができたり、棚板が脱落してけがをするおそれがあります。
- !** 製品を壁面に固定する際は、必ず十分な強度ある下地に確実に固定してください。十分な強度がない壁面に固定すると、製品が外れたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- !** 製品を壁面に固定する際は、指定されたビスと本数で確実に固定してください。指定外のビスを使ったり、本数が少ないと、製品が外れたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- !** 部品をビスで固定する際は、すき間がないように取付けてください。すき間があると、製品が外れたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- !** 製品に足や腰を掛けたり、乗ったりしないでください。落下や破損して、けがをする原因になります。
- !** ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

注意

- !** この製品は、一般住宅向け室内用です。他の用途に使用したり、直射日光に当たったり、水に濡らさないでください。用途以外の使用や屋外での使用、直射日光に当たったり水濡れは、変色や変形、ショート・感電の原因になります。
- !** 施工時の製品の取扱いにご注意ください。本製品は木質製品ですので、落下や衝突によりキズ、凹みがつく場合があります。
- !** 製品を立て掛けたり、不安定な場所に置いたりしないでください。製品が倒れてけがをしたり、製品が傷ついたり、反りが発生したりする原因になります。
- !** 製品の分解や改造をしないでください。施工時に製品の形状を変えるような加工などをされた場合は、品質保証責任を負いかねます。

お願い

●養生テープを、製品に直接貼付けないでください。表面化粧がはがれたり、接着剤が残ることがあります。

●一度使用されたダボ穴や丁番プレート、取付ネジ、取付ビスを外すと、穴が大きくなったり、バリが発生したりします。部材や部品の取付位置をお施主様とよく相談のうえ、施工してください。

DAIKEN株式会社

250926-JK-169-KA-TS-STH

ホルムアルデヒド発散区分資料

施工業者様用

カベピタ 間口収納	F☆☆☆☆
-----------	-------

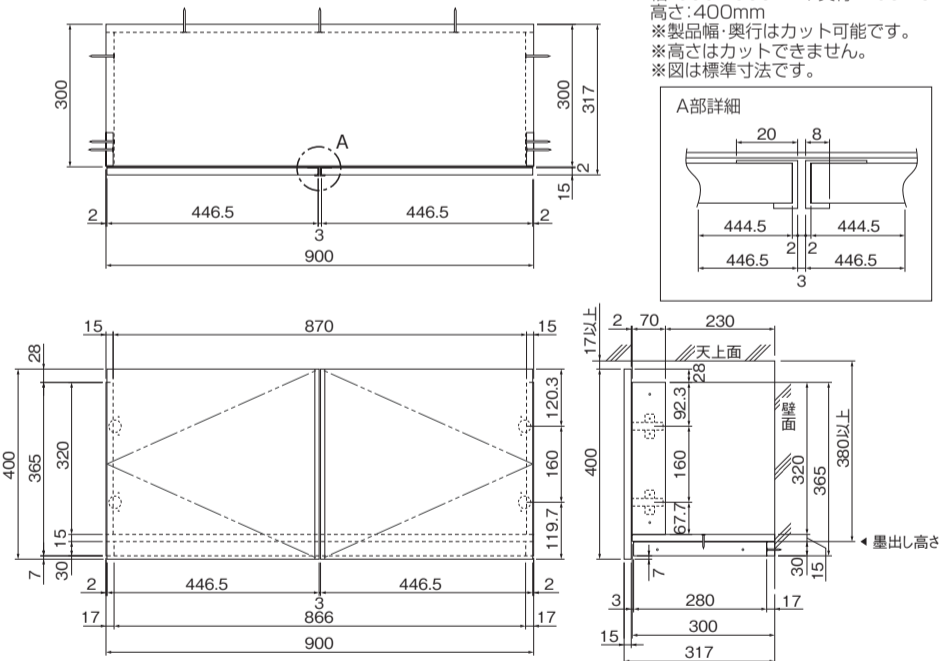
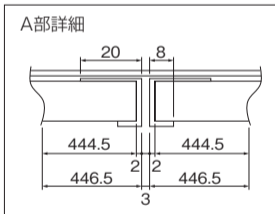
この製品のホルムアルデヒド発散に関する性能担保は、下表のようになっております。建築確認の際にこの資料をご利用ください。

○製品の構成とホルムアルデヒド発散区分

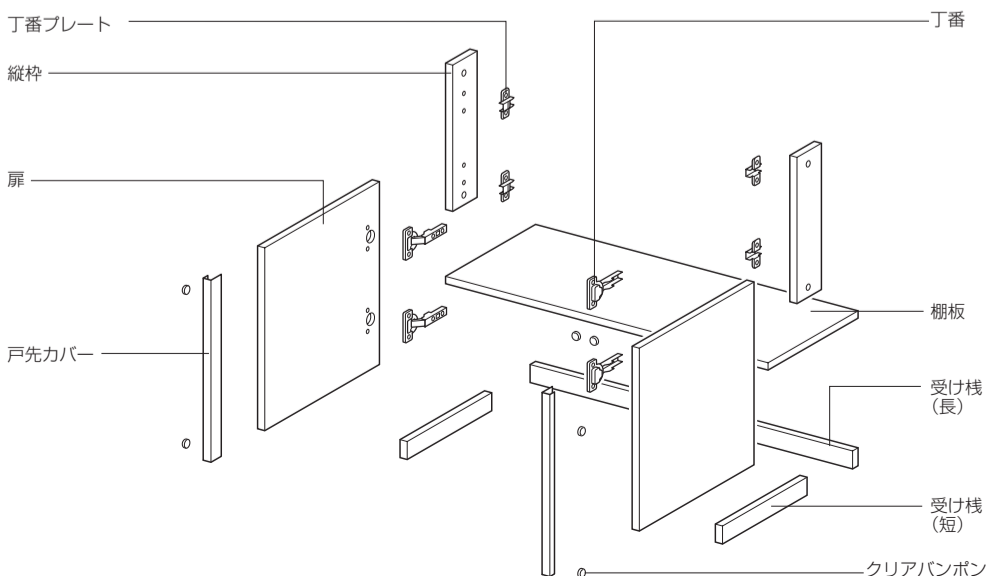
構成部位	表面材料	発散区分	備考
棚板、縦枠、扉	両面メラミン張、PB	規制対象外(F☆☆☆☆)	国土交通省大臣認定 MFN-273
受け棧、戸先カバー、丁番		告示対象外	

2. 納まり図・製品寸法図

<製品サイズ>
幅:600~900mm、奥行:150~317mm
高さ:400mm
※製品幅・奥行はカット可能です。
※高さはカットできません。
※図は標準寸法です。



3. 各部のなまえ



4. 部材・部品表 (施工前に必ず部品を確認してください)

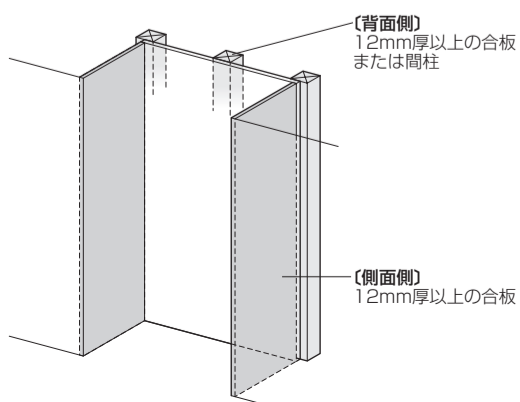
部材の種類と数量、状態を確認してください。

部材の種類	個数	部材の種類	個数
棚板 (15mm厚)	1	戸先カバー (2mm厚)	2
受け棧 (17mm厚)	長1 短2	固定ビス φ4×50・ワッシャー・キャップ	11 セット
縦枠 (15mm厚)	左右各1	カバー取付ビス φ4×12	4
扉 (15mm厚)	2	締結部材 丁番 丁番プレート (ビス取付仕様)	4 セット
		クリアバンポン	6

5. 施工前の確認と準備

1. 下地の確認

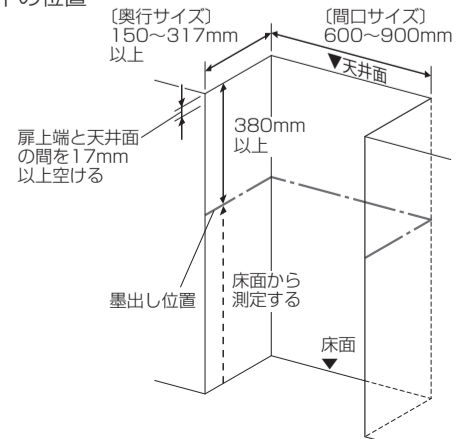
- 壁面の下地に十分な強度があることを確認してください。背面側の壁下地には12mm厚以上の合板または、ビス固定位置に間柱を配置してください。側面側の壁下地には12mm厚以上の合板を捨張りしてください。(下図参照)



2. 墨出し

以下の条件で墨出ししてください。

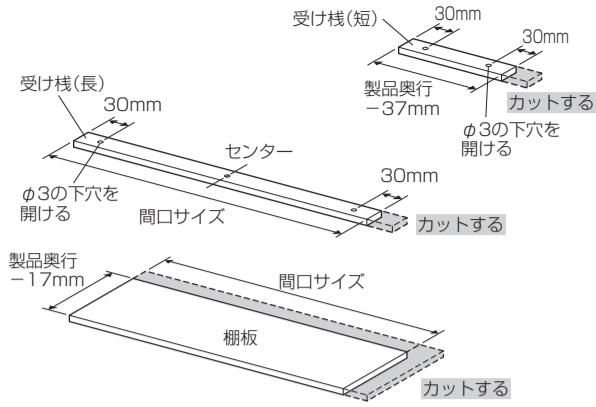
- 間口600~900mm
- 奥行(150~317mm)以上
- 天井から380mmより
- 取付位置は床から測定する
- 三方に墨出しする
- 下位置



6. 取付けかた

1. カットする

- 受け棧(長・短)と棚板を間口・奥行サイズに合わせてすき間なくカットしてください。
- 受け棧(長・短)にφ3の下穴を開けてください。



❑施工上のご注意

扉の高さ、縦枠はカットできません。

2. 部材を取付ける

- 受け棧(長)の上面を墨出し位置に合わせて、受け棧をビスで仮締めしてください。①
- 受け棧(短)の上面を墨出し位置に合わせて、受け棧をビスで仮締めしてください。②
- 受け棧の水平・垂直を確認してください。③

お願い

必ず受け棧の水平・垂直を確認してください。

- 仮締めしたビスを本締めし④、キャップをビス頭に取り付けてください。⑤
- 棚板を受け棧にのせてください。⑥ (棚板を接着する必要はありません。)

お願い

棚板のガタツキがないことを確認してください。

- 縦枠の左右を確認し、棚板にのせて、壁面に固定ビスで仮締めしてください。⑦

お願い

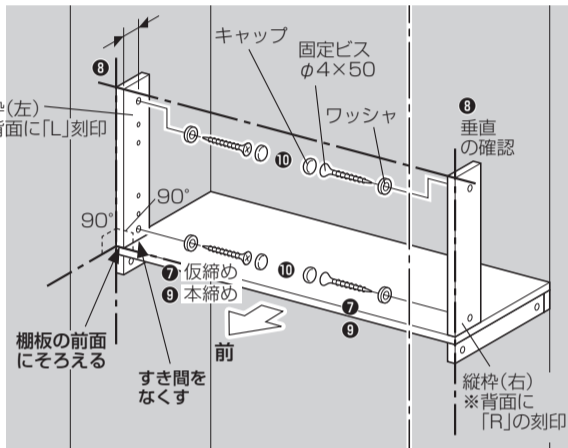
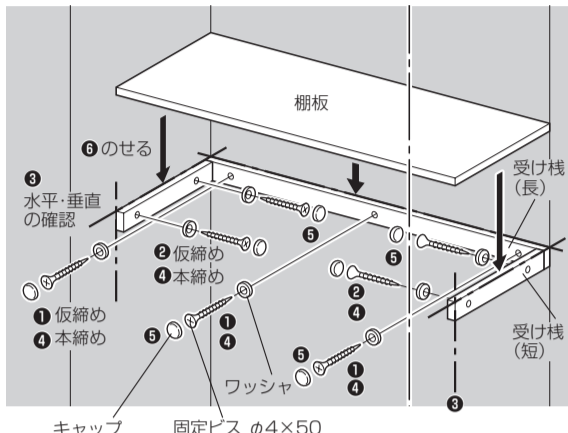
製品を正面から見て右側に「R」の刻印がある縦枠を、左側に「L」の刻印のある縦枠を取付けてください。

- 縦枠の垂直を確認してください。⑧

お願い

必ず縦枠の垂直を確認してください。

- 仮締めしたビスを本締めし⑨、キャップをビス頭に取り付けてください。⑩



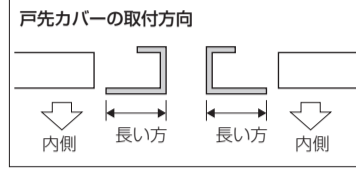
3. 扉の準備

- 扉の戸先側をカットしてください。

お願い

必ず戸先側をカットしてください。

- 戸先カバーをカットした戸先側に取付け①、φ3の下穴を開け②、カバー取付ビスで固定してください。③

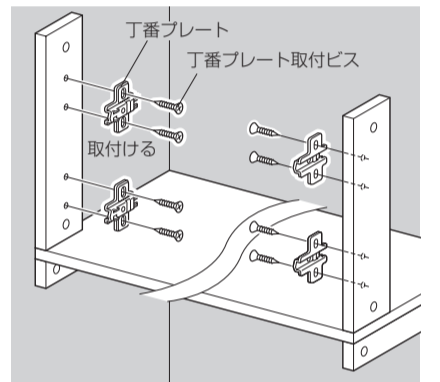
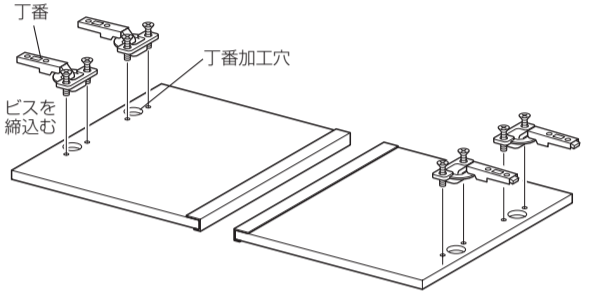
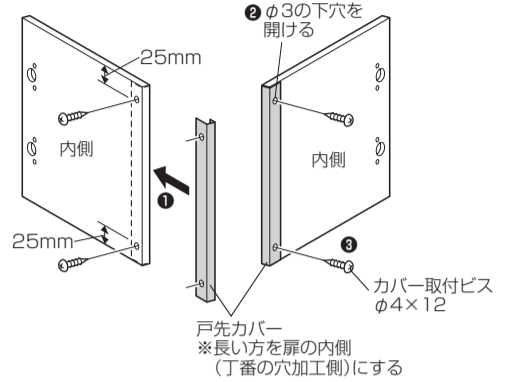
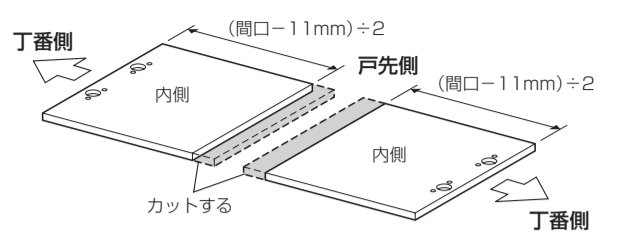
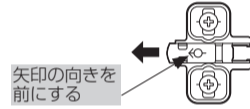


- 丁番を丁番加工穴に取付けてください。

- 縦枠の図の位置に、丁番プレートを取付けてください。

❑施工上のご注意

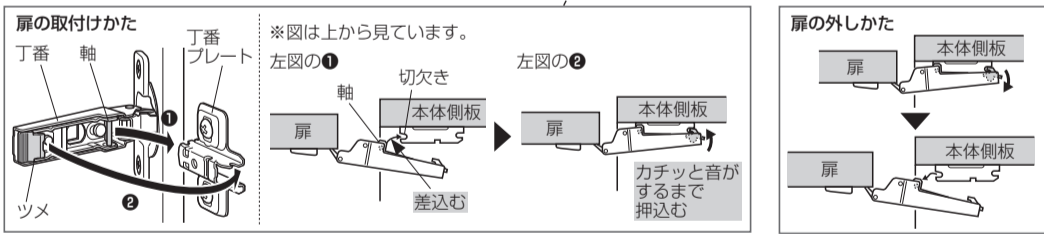
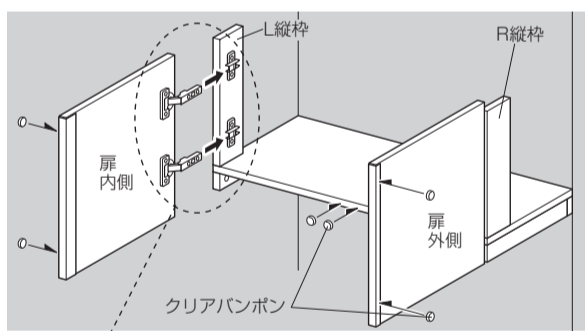
- 丁番プレートには前後がありますので注意してください。



6. 取付けかた

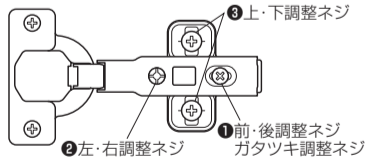
4. 扉の取付け

- 丁番の軸を丁番プレートのツメに差込んでください。
- 丁番先端のツメを丁番プレートに押込んでください。
- クリアバンポンを、扉外側上部下部と棚板の中央に貼付けてください。



5. 組立後の確認

扉が正常に開閉でき、扉のゆがみがなく確認してください。調整は、丁番のネジでおこないます。



現象	調整箇所	処置
前後の位置ズレ	 ①前後調整ネジ	前後調整ネジをゆるめ、扉の前後位置を調整後、締直してください。
左右の位置ズレ	 ②左・右調整ネジ	前後調整ネジを締めた状態で、左・右調整ネジを回して、扉の左右位置を調整してください。
上下の位置ズレ	 ③上・下調整ネジ	上・下調整ネジをゆるめて、扉の上下位置を調整した後、締直してください。

7. 取扱いについて

取扱説明書

⚠ 警告

- この製品にぶら下がったりしないでください。破損や落下によるけがの原因になります。

⚠ 注意

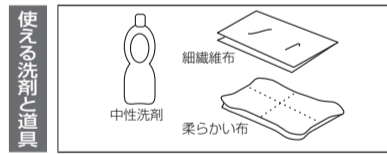
- 耐荷重を超えて、ものを置いたり収納したりしないでください。耐荷重：棚板 10kgまで 破損や落下によるけがの原因になります。

お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、うすめた中性洗剤につけた雑巾を固く絞って拭いた後、水分が残らないように乾拭きしてください。

❑汚れを落とすときのご注意

酸、アルカリ性洗剤、アルコール、シンナー、ベンジンなどを使用しないでください。表面のツヤが無くなったり変色するおそれがあります。



定期的な点検項目

製品の長期間の使用とともに、部品などが劣化(経年劣化)を生じ安全上支障が出るおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による以下の点検を実施いただきますよう、お願いいたします。

点検部位	点検項目	兆候の有無	経年劣化進行にともなう具体的な事象
扉	扉がスムーズに開閉できるか。丁番にガタツキがあるか。	有・無	扉の落下。丁番の変形や破損。

⚠ 注意

- 点検後、上記のような異常が発見された場合は直ちに使用を中止し、施工された工事店様へ連絡し、メンテナンスを受けてください。そのまま使用していると、部材の脱落などにより、けがをするおそれがあります。

DAIKEN製品の品質保証について

弊社は、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。保証期間経過後の修理については有料となります。

■対象製品
カベタ 間口収納

■保証事項
通常の環境下にて、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態(前提条件)で、弊社の責任に起因する製品不具合(保証期間一覧表参照)を無料で修理いたします。なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。
※修理とは、壊れたり傷んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。(原則、新品交換は含みません)

■保証期間
弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。(保証期間一覧表参照)
保証期間経過後の修理については有料となります。

保証事項	保証箇所	保証対象となる不具合現象	保証期間
使用上の著しい支障が生じないこと	作動不良(故障)	引渡後	2年
外観上の著しい変形・変質が生じないこと	変形(変色、ハジレ、クラック)	引渡後	2年

※1:「著しい」の定義
正常な施工・使用状態のもとで経過時間を考慮し、客観的に見て通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。
※2:保証期間経過後の修理について
保証事項が「使用」に係るものについては、保証期間を「物件引渡後」から起算します。それ以外のものについては、「当該製品施工完了後」から起算します。

■免責事項
製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外となります。
1) 建物の設計・施工に起因する不具合
2) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
3) 自然現象・周辺環境など(※1)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れまたはその他の不具合
4) 密着があっても扉内外の温度差が著しく違う部位に取付けられたことに起因する不具合
5) 極端に乾燥を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取付けられたことに起因する不具合
6) 建物の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
7) 入居者または第三者の不適切な使用または維持管理などに起因する不具合
8) 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
9) 経時変化による通常の一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、さび、かび、劣化腐食などの不具合
10) 用途外に使用された場合の故障および損害(例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合など)
11) 犬・猫・鳥などの小動物の害に起因する不具合やキウイシなどの害虫に起因する不具合
12) 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
13) 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
14) 製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不具合
15) 扉扉などの遮断地への出張を要する修理をおこなう場合、出張に要する実費
16) その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1: 火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

製品に関するお問い合わせ DAIKENお客様センター ☎0120-787-505 (受付時間…平日9:00~17:00 土日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいております)

DAIKEN株式会社 DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>